

H29.3.22 第 19 回大阪府食の安全安心推進協議会

第 15 回事業者あり方検討部会による顕彰審査報告

開催日：平成 28 年 3 月 22 日（火）午後 1 時 30 分から

場 所：ホテルプリムローズ大阪 3 階 高砂の間

議 事：大阪府食の安全安心顕彰制度における顕彰候補者の審査について

《第 4 回大阪府食の安全安心顕彰制度大阪府知事賞 受賞者 計 6 組》

	部門	名称あるいは氏名	講評
1	事業者	株式会社エイエイエス ケータリング	大阪版食の安全安心認証制度の認証を受け、安全面と品質管理において世界でもトップクラスの評価を受けながら、地域における食の安全・安心の啓発にも貢献している点が高く評価されました。
2	事業者	地方独立行政法人大阪 府立環境農林水産総合 研究所水産研究部	豊かな漁業と美しい海を守るため大阪湾の環境保全に取り組むとともに、貝毒に関する調査・研究が府民の安全確保に大きな貢献をしているとして評価されました。
3	事業者	北河内農業協同組合 （JA北河内）	「エコレンゲ米」の栽培を通じて、環境・農地保全に多大な貢献をしていることや、「食育体験学習」を通じて食の安全安心に関する取組をしていることが高く評価されました。
4	事業者	米虫 節夫 （大阪市立大学大学院 客員教授）	食品安全・食品衛生に関する研究者として素晴らしい功績を挙げるとともに、教育者として人材育成に積極的に取り組み、多くの人材を育成した実績とその姿勢が高く評価されました。
5	事業者	三栄源エフ・エフ・アイ 株式会社	独自の品質保証システムを構築し、安全・安心な食品添加物を提供することに加え、添加物に関する情報発信や食育活動を熱心に行う姿勢が高く評価されました。
6	事業者	中原 義任 （菓子製造 「大阪さつま屋」）	大規模事業者でないにもかかわらず、菓子業界の模範となる水準で、地域に密着して食の安全・安心に取り組む、さらに、地産地消や地域ブランドの推進を通じて、大きく地域に貢献したことが高く評価されました。

《表彰式》

開催日：平成 28 年 5 月 17 日（火）14:30 から

場 所：[関西] 外食ビジネスウィーク 2016（インテックス大阪）

第18回事業者あり方検討部会による顕彰審査報告

開催日：平成29年2月10日（金）午後1時30分から

場 所：KKRホテル大阪 5階 瑞宝の間

議 事：大阪府食の安全安心顕彰制度における顕彰候補者の審査について

《第5回大阪府食の安全安心顕彰制度大阪府知事賞 受賞者 計5組》

	部門	名称あるいは氏名	講評
1	事業者	大阪府泉佐野保健所管内給食研究会	大阪版食の安全安心認証制度の普及に努めるとともに、衛生管理の基本である手洗いについて習得の仕組みを独自に構築し、危機管理対策の推進にも積極的に取り組んでいることが高く評価されました。
2	事業者	尾崎 滋 (日本料理「十方」)	食の安全や信頼を確保するため、自主衛生管理の徹底とコンプライアンスの向上に努めるほか、長年にわたり調理業務に精励する中で、後進の人材育成に尽力するとともに、食育活動や伝統食材の伝承などに取り組む姿勢が高く評価されました。
3	事業者	カタシモワインフード株式会社	河内地域のぶどう畑を守りながら地域活性化に貢献し、大阪ワインを全国に発信している点や、有機肥料栽培、環境に配慮した商品開発、小学生への食育活動など、幅広い取組が高く評価されました。
4	事業者	有限会社能勢物産センター	農薬のトレーサビリティシステムを先駆的に構築したことに加え、地産地消をはじめとした地域活性化のほか、食育の推進や地域の学校教育の充実に大きく貢献していることが高く評価されました。
5	消費者	とよなか消費者協会	消費者の立場から暮らしに関する問題について調査研究を実施し、その成果を発表するなど積極的に情報発信を行い、長年にわたり地域に密着した幅広い啓発活動に取り組んでいることが高く評価されました。

《表彰式》

開催日：平成29年4月28日（金）

場 所：「17 食博覧会・大阪」（インテックス大阪）

【大阪府食の安全安心顕彰制度】

府・事業者及び府民の相互理解と協力の下、食の安全安心の確保に関し、特に優れた取組をした者を広く顕彰することにより、食の安全安心の取組を活性化するために設けられた制度です。事業者だけでなく、消費者も顕彰の対象としていることが特徴です。